

業 務 等 回 答 書

提出日：令和8年（2026年）3月27日

発注機関名	長野県観光スポーツ部山岳高原観光課	公 告 日	令和8年3月11日
業 務 名	観光業の高付加価値化に向けた観光人材育成プログラム実施業務		
質 問 内 容	Q1：本事業における「高付加価値化」の定義と優先領域は何か。 Q2：想定受講者（次世代経営層）の具体的な属性・レベル感は。 Q3：受講者の最終成果（事業計画）はどのレベルを想定しているか。また、観光業の中でも、観光協会・DMO、宿泊業、交通機関、ガイドなど特に重視されている分野はあるか。 Q4：県の観光コンテンツ整備補助金との連携はどの程度必須か。 Q5：現地視察・フィールドワークは長野県内に限定されるか、それとも県外先進事例も想定か。 Q6：コーディネーターの伴走支援の深度はどこまで求めるか。 Q7：長野県の観光アクションプランにおける重点施策との連動はどこまで求めるか。 Q8：受講者選定において重視する観点は何か。 Q9：本プログラム終了後のフォロー（事業化支援・ネットワーク維持）は想定しているか。 Q10：参加者が20名超えた場合の選定方法については、受託者が選定するのか。（する場合先着順なのか、選定基準があるのかなど） Q11：令和6年度は受講料無料、交通費は自己負担だが、本年度はどのように考えているか。 Q12：受講対象者への広報については、何か具体的に想定しているものはあるか。また、参加者の参加申し込みについても想定しているものはあるか。		

回 答

Q1：本事業における「高付加価値化」とは、旅行者の観光消費額や満足度の向上に繋がる取組を幅広く指すこととします。

Q2：受講対象者は、新たな事業展開を計画している県内観光業の次世代経営層（新規創業予定者含む）を想定しています。

Q3：構想段階に留まらず、実行に向けた検討がなされた事業計画レベルを想定しています。事業内容、ターゲット、提供する価値、実施体制、資金調達の考え方等が整理され、協業相手との調整や、融資相談・補助申請等に移せる内容となることを目指します。

Q4：必須ではありませんが、事業構想を実現するための具体的な選択肢の一つとして検討できる状態になることを想定します。

Q5：現地視察・フィールドワークの実施場所について、特定の地域（県内・県外）の指定はありません。本事業の目的や受講者の学習効果を踏まえ、最適な内容・場所についてご提案をお願いします。

Q6：受講期間を通じて、事業構想の具体化、個別相談対応、関係機関等とのマッチング等を行う実践的な伴走支援を求めます。単発の助言に留まらず、受講者が本業務のゴール達成ができるような支援を想定しています。

Q7：県の観光アクションプランの方向性と整合していることが望ましいと考えていますが、施策や数値目標への厳密な紐づけを求めるものではありません。

Q8：新たな事業展開への意欲、プログラムへの継続的な参加が可能であること、県内観光への波及効果が期待できる視点等を重視します。

Q9：本事業として、プログラム終了後のフォローやネットワーク維持を義務付けるものではありません。終了後の関わり方やフォローアップの在り方については、提案によることとし、内容や実施の可否については、県と協議の上で整理することとします。

Q10：募集および選定方法は、県と協議の上決定します。先着順ではなく、新たな事業展開の意欲、プログラムへの継続参加への期待等を踏まえた選定を想定しています。

Q11：受講料は原則無料、交通費は受講者の自己負担を想定しています。

Q12：特定の媒体や方法は指定していません。県内の幅広い観光関連事業者に情報が届く効果的な方法の提案を求めます。